

千葉、上總、三浦、土肥、秩父、大庭、梶原、長尾、

〔太平記〕^十三浦大多和合戰意見事

慧性時ノ聲ニ驚テ、馬ヨ物具ヨト周章騒處ヘ、義貞義助ノ兵縱横無盡ニ懸立ル、三浦平六是ニ力ヲ得テ、江戸、豊島、葛西、河越、坂東ノ八平氏○中ヲ七手ニナシ、卿手輪違十文字ニ不餘トゾ攻タリケル、

〔太平記〕^{二十九}師冬自害事附諏方五郎事

父民部大輔是ヲ爲誅伐下向ノ由ヲ稱シテ、上野ニ下著シテ、則左衛門藏人ト同心シテ武藏國ヘ打越、坂東ノ八平氏○中ヲ付順フ、幡州師冬是ヲ被聞候テ八箇國ノ勢ヲ被催ニ、更ニ一騎モ不馳寄○下

〔源平盛衰記〕^{三十四}東國兵馬汰并佐々木賜生、附象王太子事

鎌倉殿○源朝ノ侍所ニテ評定アリ○中能キ馬共ヲ渡シテ、宇治勢多ヲ渡シテ、高名アルベシトゾ被議ケル、斯リケレバ大名小名、黨モ高家モ面々ニ其用意アリ、

〔源平盛衰記〕^{二十七}信濃横田川原軍事

西ノ七郎、二段計ニ歩セヨリ、和君ハ誰ゾ、信濃國住人富部三郎家俊、問ハ誰ゾ○中、俵藤太秀郷ガ八代ノ末葉、高山黨ニ西七郎廣助トハ、我事也、家俊ナラバ、引退ケ、合ヌ敵ト嫌タリ、

〔吾妻鏡〕^{三十一}嘉禎三年八月十三日辛卯、六波羅飛脚參申云、去五日、四天王寺執行一族上座覺順、

引率二百餘人、欲保天王寺之間、渡邊黨相戰之間、覺順已下九十三人被討取訖、

〔太平記〕^{三十二}直冬上洛事附鬼丸鬼切事

河内國高安ノ里ヨリ頼光ノ母儀オハシテ○中、我右ノ手ノ臂ヨリ切ラレタルヲ差出シテ、是ハ我手ニテ候ケルト云テ差合、忽ニ長二丈計ナル牛鬼ト成テ、酌ニ立タリケル綱邊○渡ヲ、左ノ手ニ